

第3章

質問票による調査

第3章 質問票による調査

本章では、質問票による日本センター事業の分析結果を述べる。評価チームは、日本センター事業に対する評価を実施するため、対象者を以下の4カテゴリーに分けて質問票を送付し、日本センターに対する認識を調査した。

- 1 日本センター内部関係者（理事会，監査評議会，所長，職員等）
- 2 日本国内関係者（自治体，公共団体，各種団体）
- 3 在ロシア日本企業関係者
- 4 ロシア側関係者（日本センター受講生，ロシア企業）

質問票の質問項目は、評価項目及び評価基準（1－6，7）に準拠して作成しているが、4カテゴリーに共通している質問の他、各カテゴリーに対応した独自の質問を設けている場合もある。また、評価についての質問は、肯定的評価と否定的評価の分布を調べるため、回答の選択肢を4択（肯定的評価，やや肯定的評価，やや否定的評価，否定的評価）とした。

なお、外務省（外務本省と在ロシア公館）関係者は、日本センター事業に対する評価の依頼者であることから、質問票による調査対象外とした。また、ロシア行政関係者については、質問票による調査ではなく、現地で聴き取り調査を実施した。

平成27年5月12日に質問票の配布を開始し、6月12日までに寄せられた回答を集計した。質問票の配布総数は約3,000件、得られた回答は約600件である。それぞれのカテゴリーの回答の集計結果と傾向は次のとおりである（集計結果は、巻末資料4参照）。

3-1 日本センター内部関係者

3-1-1 対象者

日本国内では、日本センター理事会及び監査評議会のメンバー、現地においては、本邦から派遣された日本センター所長（本部長、支部長）及び邦人職員、現地採用職員、日本語講師を対象に質問票を配布した。対象者は、理事会（理事長1人、理事1人（外務省員の理事を除く））、監査評議会3人、所長6人、邦人職員3人、現地職員18人、日本語講師26人の計58人であり、そのうち56人から回答を得た。

3-1-2 日本センター関係者が重視する分野

◆質問1「あなたは、日露経済交流の促進においてどのようなテーマを重視していますか」に対する回答は以下のとおりである。（複数回答可）。

- 1 日本語（26件）
- 2 中小企業経営（11件）、
- 3 顧客満足（8件）、
カイゼン・生産性向上・品質管理（8件）
観光（8件）
自治体交流（8件）

以下、小売業（2）、運輸／ロジスティクス（1）、医療（6）、農業／食料加工（3）、環境／ゴミ処理（4）、建設／都市インフラ（2）等。

回答数の第1位が「日本語」であるのは、調査対象者に占める日本語講師の割合が高いことを反映している。

第2位の「中小企業経営」、第3位の「顧客満足」及び「カイゼン・生産性向上・品質管理」は、経営関連のテーマであり、日本センター事業が大統領プログラム「ロシア企業家養成計画」への協力として位置づけられていることにも対応する。

同じく第3位の「自治体交流」は、日本センターが自治体交流及び自治体間の経済交流に協力していることを反映している。

また、「観光」以下の諸分野は、いずれも日露企業間のビジネス・マッチングの対象分野であるが、日本センターが所在する各都市・地域によりニーズが異なること、それに応じて所長が重視する分野も多岐にわたることを示している。

3-1-3 事業面に対する評価

質問2～5は、日本センターの事業に対する日本センター内部関係者の自己評価についての質問である。

◆質問2「あなたは、日本センターが日本企業／ロシア企業のニーズに合致していると思いますか」

肯定的回答は96%（回答者54人中、「合致している」が35人、「やや合致している」が17人）

◆質問3「あなたは、日本センターが日露経済交流の促進に寄与していると思いますか」

肯定的回答は100%（回答者53人中、「寄与している」が39人、「やや寄与している」が14人）

◆質問4「あなたは、日本センターが日露企業間のビジネス機会の拡大に成功していると思いますか」

肯定的回答は94%（回答者51人中、「成功している」が34人、「やや成功している」が14人）

◆質問5「あなたは日本センターが日露経済関係についてロシア側経済人にどのような認識を与えていると思いますか」

肯定的回答は100%（回答者48人中、「肯定的な認識を与えた」が41人、「やや肯定的な認識を与えた」が7人）

回答の具体例は以下のとおりである。

- －日露のビジネスの個別具体の事象（企業、案件、地域、分野）の課題の解決支援に積極的に取り組んでいる（質問3）、
- －ロシア人ビジネスマンを対象とした研修事業を通じて日露のビジネスの種を見つけ出し、育てる役割を果たしている（質問4）、
- －日露の中小企業がビジネス関係の構築を試みる最初の足がかりとして日本センターの仲介が寄与している（質問4）、
- －日本センターが実施するビジネスセミナー、巡回講座、訪日研修により、多数のロシア人ビジネスマンが日本経済の実態を知る機会を得て日露経済関係の発展に寄与する希望を表明している（質問5）

日本センター内部関係者は、日本センターが各種研修事業を行っていること、個別のビジネス案件の支援に取り組んでいることが、日露経済

交流の促進や日露企業間のビジネス機会の拡大に役立っているとの認識を有している。

3-1-4 運営面に対する評価

質問6～11は、日本センターの運営に対する日本センター内部関係者の自己評価についての質問である。

◆質問6「あなたは、日本センターがロシア側のニーズを取り入れていると思いますか」

肯定的回答は100%（回答者50人中、「取り入れている」が32人、「やや取り入れている」が18人）

◆質問7「あなたは、日本センターが事業の策定に際してロシア側の意見を取り入れていると思いますか」

肯定的回答は98%（回答者49人中、「取り入れている」が30人、「やや取り入れている」が18人）

◆質問8「あなたは、日本センターが前年度事業の反省を次年度事業の改善に取り入れていると思いますか」

肯定的回答は96%（回答者53人中、「取り入れている」が36人、「やや取り入れている」が15人）

◆質問9「あなたは、日本センターが自らの事業に対するフォローアップを行っていると思いますか」

肯定的回答は90%（回答者48人中、「行っている」が29人、「やや行っている」が14人）。

◆質問10「あなたは、日本センターがセンター間の連携を行っていると思いますか」

肯定的回答は90%（回答者52人中、「行っている」が32人、「やや行っている」が16人）

◆質問11「あなたは、日本センターが他の日本側関係機関（JETRO、ROTOBO等）との連絡調整を行っていると思いますか」

肯定的回答は89%（回答者45人中、「行っている」が24人、「やや行っている」が16人）

日本センター内部関係者は、前年度事業の反省、実施した事業に対するフォローアップ、センター間の連携及び他の日本側関係機関との連絡調整を十分に行っていると考えている。

3-1-5 日本センターの特徴に対する認識

質問12は、他の日本側関係機関とは異なる日本センターの特徴に関する自己評価についての質問である。

◆質問12「あなたは、日本センターが他の日本側関係機関ができない活動を行っていると思いますか」

肯定的回答は100%（回答者45人中、「行っている」が36人、「やや行っている」が9人）。

◆質問12の2「あなたにとり、他の日本側関係機関にない日本センターの特徴は何だと思いますか」

（回答の具体例）

- －日本センターは、ロシアの6都市にて個別案件、個別企業、個別テーマを取り上げ、それらの課題解決に取り組んでいる、
- －地方人材センターや地方政府等と共催で講座等を開催しており、様々な地方と信頼関係があり、それらの地域から日本の技術の導入や日本製品購入等の協力要請を受ける、
- －無償で実施され、日露間の文化的・経済的関係の強化という意義を十分に正当化できる、
- －拡散された支部ネットワークの存在、講座・研修受講生の豊富な人的基盤、地方とのコンタクト、
- －日本とのビジネス関係拡大に関心を有する人脈を蓄積していく非営利団体、
- －日本の文化やメンタリティを知るための活動

日本センター内部関係者は、各センターの活動を通じて形成されたネットワーク、個別的な課題への対応、無償、文化面における活動等が、他の日本側関係機関にない日本センターの特徴であると考えている。

3-2 日本国内関係者

3-2-1 対象者

日本国内の官公庁（外務省を除く）、地方公共団体、各種団体の関係者に質問票を送付し、25人から回答を得た。

3-2-2 日本センターとの関わり

質問1～2は、日本国内関係者と日本センターとの関わりについての質問である。

◆質問1「あなたは、日本センターをどのようにして知りましたか」
（複数回答可）

- 1 外務省関係者（外務本省，在外公館）から（14件）
- 2 他の省庁や独立行政法人等の関係者から（4件）
- 3 日本センター職員から（4件）
- 4 日本センターのサイトから（3件）
- 5 その他（6件）

◆質問2「あなたが日本センターと関係したのはどのような分野ですか」
（複数回答可）

- 1 貿易／経済交流実務（11件）
- 2 自治体交流（8件）

以下、小売業（1）、運輸、ロジスティクス（3）、医療（2）、観光（2）、農業／食料加工（2）、環境／ゴミ処理（1）、建設／都市インフラ（1）等。

国内関係者が日本センターを知るきっかけになったのは、「外務省関係者（外務本省，在外公館）から」が14件と最多で、全体の半数を占める。また、日本センターと関係した分野は、回答数順に「貿易／経済交流実務」（11）、「自治体交流」（8）となっており、日本センターが日露間の経済交流や自治体交流に協力していることを示している。

3-2-3 事業面に対する評価

質問3～7は、日本国内関係者の日本センター事業に対する評価についての質問である。

◆質問3「日本センターの活動は、あなたにとり満足できるレベルですか」

肯定的回答は95%（回答者20人中、「満足している」が9人、「やや満足している」が10人）。

◆質問4「日本センターは、あなたとのニーズに合っていますか」

肯定的回答は80%（回答者20人中、「合っている」が8人、「やや合っている」が8人）

◆質問5「日本センターは、あなたの活動に役立ちましたか」

肯定的回答は85%（回答者20人中、「役に立った」が11人、「やや役に立った」が6人）

◆質問6「あなたは、日本センターがロシアと日本との経済交流の促進に寄与していると思いますか」

肯定的回答は95%（回答者20人中、「寄与している」が14人、「やや寄与している」が5人）

◆質問7「あなたは、日本センターが日露間の貿易投資活動において日本企業の役に立っていると思いますか」

肯定的回答は90%（回答者20人中、「役に立っている」が8人、「やや役に立っている」が10人）

質問4において、日本センターがニーズに「合っていない」、「やや合っていない」と回答した対象者に希望するニーズを確認したところ、結果は以下のとおりである。

- －ロシア側の企業信用力,
- －販売先への橋渡し（言語問題）,
- －企業情報収集, 商談・販路の開拓,
- －経済セミナー開催支援, 最新のビジネス情報提供,
- －企業や大学による交流のマッチング, 州政府との調整,
- －現在の拠点以外にセンターを開設し, 広くロシア全体をカバーできる体制

質問5～7の回答の具体例は、それぞれ以下のとおりである。
（日本センターが回答者の役に立った例）（質問5）

- －現地情報の収集,
- －バイヤーとのマッチングや商談会場の借用,
- －地元の有望ビジネスマンの紹介,
- －現地情勢ブリーフィング, アテンド, セミナー開催支援

(日本センターが日露経済交流の促進及び日本企業の役に立った例)

(質問6, 7)

- －現地商談会を通じて経済交流(日本からの輸出)に結び付いた案件がある,
- －ロシア極東の企業とのアクセスにおける支援,
- －(日本センターの講座/研修の)卒業生を日本企業に紹介している,
- －情報収集が難しいロシアにおけるビジネスに関する情報提供

日本センター内部関係者の自己評価ほどではないが、日本国内関係者は、日本センターを高く評価している。

なお、質問4において日本センターがニーズに「合っていない」または「やや合っていない」と回答した対象者が希望するニーズには、以下が含まれている。

- 1 日本センターが実施しているもの
 - ・販売先への橋渡し,
 - ・企業情報収集,
 - ・経済セミナー開催支援,
 - ・最新のビジネス情報提供,
 - ・企業や大学による交流のマッチング,
 - ・州政府との調整,
- 2 日本センターの現在の人員・予算体制上対応困難と思われるもの
 - ・現在の拠点以外にセンターを開設し、広くロシア全体をカバーできる体制,
- 3 日本センターが行うことができるビジネス・マッチングの範囲を超えていると思われるもの
 - ・ロシア側の企業信用力,
 - ・販路の開拓

質問5～7への回答から、日本センターがビジネス・マッチング活動を行い、成果を上げていることが日本側国内関係者に認識されている。

なお、質問7への回答として「日本政府がこのようなセンターを設置していること自体が、ある種の安心感につながり、日本企業が貿易や投資をするに当たっては、判断材料として一つのプラスになっている」として、日本センターの存在自体が有益であるとの見方も示された。

3-2-4 運営面に対する評価

質問8は、日本センターの運営面に対する日本国内関係者の評価についての質問である。日本国内関係者は、日本センター内部関係者とは異なり、センター内部の運営に関与していないことから、日本センターと他の日本側関係機関（JETRO、ROTOBO）との連絡調整の有無についての評価を照会した。

◆質問8「あなたは、日本センターが他の日本側関係機関（JETRO、ROTOBO等）との連絡調整を行っていると思いますか」

肯定的回答は72%（回答者18人中、「行っている」が7人、「やや行っている」が6人）

質問8の回答の具体例は以下のとおりである。

- －モスクワ、サンクトペテルブルクにおいては定期的に大使館・総領事館、JETRO、ROTOBOの連絡会を持っている、
- －ROTOBOと共同のセミナー、商談会を多く開催している、
- －連絡調整をとっていることを知らなかった、
- －連絡調整はあるのかもしれないが、実態があまりよく見えない

日本センター内部関係者の回答（3-1-4）質問11）に比べると肯定的回答の率がやや低いが、日本国内関係者もまた、日本センターが他の日本側関係機関と連絡調整を行っていると認識しながら、外部からはどのように連絡・調整が行われているかが「実態があまりよく見えない」との回答もあった。

3-2-5 日本センターに対する期待

◆質問9「あなたは、これからも日本センターをあなたの活動に活用していきたいですか」

肯定的回答は95%（回答者20人中、「活用していきたい」が12人、「やや活用していきたい」が7人）

質問9に対する回答の具体例は以下のとおりである。

(これからも日本センターを活用していきたい理由)

- －地域の数少ない信頼のできる情報ソース,
- －最初の相談先,
- －ROTOBOやJETROの現地事務所がない地域では日本企業の活動のベース,
- －公平性, 日本側の視点でのロシア企業の紹介,
- －情報拠点として有意義

(日本センターを活用する利点)

- －情報が無いロシアとの経済交流を目指す場合信頼のおける相談窓口,
- －現地でのコネクション, ネットワーク作り, 経済活動・販路拡大のため活用,
- －現地の経済情報, 地元優良企業情報の集積,
- －所長による細部に渡る丁寧な対応,
- －現地でのビジネス実務やその他の習慣, 人脈に精通したセンター長による現地の現状から適切なアドバイス, 堪能な語学力を生かした現地側との様々な調整や情報収集の無償提供

日本企業がロシアで活動していく上での相談窓口や情報提供窓口としての日本センターに対するニーズは高い。

3-3 在ロシア日本企業関係者

3-3-1 対象者

現地（ロシア）の日本企業等の関係者（邦人）に質問票を配布し、64人から回答を得た。

3-3-2 日本センターとの関わり

日本国内関係者と同様（3-2-2）、現地日本企業関係者と日本センターとの関わりについて質問した。

◆質問1「あなたは、日本センターをどのようにして知りましたか」
(複数回答可)

- 1 日本センターの職員から（30件）
- 2 外務省関係者（外務本省, 在外公館）から（19件）

- 3 日本センターのサイトから（11件）
- 4 他の省庁や独立行政法人等の関係者から（8件）
- 5 その他（1件）

◆質問2「あなたが日本センターと関係したのはどのような分野ですか」（複数回答可）

- 1 貿易／経済交流実務（21件）
- 2 日本語（19件），
- 3 自治体交流（18件），
- 以下，小売業（4），運輸／ロジスティクス（7），医療（11），
- 観光（14），農業／食料加工（10），環境／ゴミ処理（7），建設／都市インフラ（8）等。

現地日本企業関係者と日本センターとの関わりが「日本センターの職員から」（30件）と「日本センターのサイトから」（11件）との回答の合計が全回答数の過半を占めており，日本国内関係者の回答（3-2-2）と逆転している。また，日本センターは「貿易／経済交流実務」，「日本語講座」，「自治体交流」を通じて現地日本企業と関わりを有している。

日本語については，日本センターが企業の要望に応じて日本語能力のある職員の募集への協力や通訳支援を行っていること，また自社の現地職員が日本センターの日本語講座を受講している（あるいは，過去に受講した）ケースがあることと関係している（質問5に対する回答）。

3-3-3 事業面に対する評価

質問3～7は，日本国内関係者の日本センター事業に対する評価についての質問である。

◆質問3「日本センターの活動は，あなたにとり満足できるレベルですか」

肯定的回答は95%（回答者61人中，「満足している」が48人，「やや満足している」が10人）

◆質問4「日本センターは，あなたとのニーズに合っていますか」

肯定的回答は97%（回答者59人中，「合っている」が33人，「やや合っている」が24人）

◆質問5「日本センターは，あなたの活動に役立ちましたか」

肯定的回答は95%（回答者60人中、「役に立った」が46人、「やや役に立った」が11人）

◆質問6「あなたは、日本センターがロシアと日本との経済交流の促進に寄与していると思いますか」

肯定的回答は97%（回答者60人中、「寄与している」が46人、「やや寄与している」が12人）

◆質問7「あなたは、日本センターが日露間の貿易投資活動において日本企業の役に立っていると思いますか」

肯定的回答は91%（回答者57人中、「役に立っている」が34人、「やや役に立っている」が18人）

質問4において、日本センターがニーズに「合っていない」、「やや合っていない」と回答した対象者に希望するニーズを確認した結果は以下のとおりである。

- －日本企業とのビジネスを希望するロシア企業との出会いの機会の創出,
- －日本語教育の普及と日本型経営の啓蒙活動,
- －ジャパブランドの良さの啓蒙,
- －ビジネスを取り巻く環境の情報, 現地企業の情報, 現地の統計等,
- －ビジネス上, 疑問や問題が生じた際の相談相手

質問5において、日本センターが回答者の役に立った具体例は以下のとおりである。

- －所長からのロシア情勢・ロシア人メンタリティ等々についての示唆に富む意見,
- －人材の発掘,
- －日本語講座の受講によりナショナル・スタッフの語学学習に役立っている,
- －日本語を学びたい現地スタッフへの語学教育, 各種講座,
- －独力で創出困難な案件について日本センターから引き合いを入手,
- －日本センターを通じて適正な事業者と知り合うことができた,
- －情報収集やセミナー等開催の際の相談窓口,
- －ロシア企業の業種・企業内容・情報収集

質問6において、日本センターが日露経済交流の促進に寄与した具体例は以下のとおりである。

- －日本センター主催セミナー受講生と出会う機会があるが、日本びい

- きで日本とのビジネス関係構築を心より望んでいる、
- －お互い情報がない両国において情報収集と発信においてたいへん寄与している、
 - －日常の業務でカバーできない専門的な情報、草の根的な生の情報を供与いただける、
 - －適切な企業を紹介してもらえらる機関として広く認知されている、
 - －日本センターの活動を通じて日本企業や日本文化に興味を持つロシア企業、ロシア人が増えている、
 - －日本とロシアの人的交流の拠点

質問7において、日本センターが日本企業に役立った具体例は以下のとおりである。

- －ロシア企業の存在やニーズ把握は、個別企業ではなかなか手が回らない。特に、地方都市は困難。日本センターは各企業の課題である新規開拓業務を補完する役割を果たしており、相手ロシア企業に関する情報もスクリーニングされており、一定の信頼をもって検討を開始できる、
- －現地のニーズを調査し、日本企業の求めに応じたパートナーを探している、
- －人と人とを結び付け細かい調整にも対応できている

他方、質問6～7に対し、以下の否定的な回答もあった。

- －日露の経済交流自身が極めて低いレベルにあるとき、日本センターがどんなに努力しても交流レベルがあがるわけがない、
- －設立から今までの活動の成果がよくわかりません、
- －日本センターがビジネス・マッチングを行っていることはあまり知られていない。

質問4において日本センターがニーズに「合っていない」または「やや合っていない」と回答した対象者が希望するニーズには、以下が含まれている。

- 1 日本センターが実施しているもの
 - ・日本企業とのビジネスを希望するロシア企業との出会いの機会の創出、
 - ・ビジネスを取り巻く環境の情報、
 - ・現地企業の情報、
 - ・現地の統計等、

- ・ビジネス上疑問や問題が生じた際の相談相手
- 2 日本センターの本来の事業目的の範囲を超えていると思われるもの
- ・日本語教育の普及と日本型経営の啓蒙活動, ジャパンブランドの良さの啓蒙

質問5～7への回答から、日本センターのビジネス・マッチング活動が現地日本企業関係者に認識されている。他方で、日本センターの活動が必ずしも全ての現地日本企業に知られているわけではない。

3-3-4 運営面に対する評価

質問8は、日本国内関係者に対して行った調査と同様、現地日本企業関係者に対し、日本センターと他の日本側関係機関（JETRO, ROTOB）との連絡調整の有無についての評価を照会した。

◆質問8「あなたは、日本センターが他の日本側関係機関（JETRO, ROTOB等）との連絡調整を行っていると思いますか」

肯定的回答は86%（回答者44人中、「行っている」が27人、「やや行っている」が11人）

質問8における回答の具体例は以下のとおりである。

- －サンクトペテルブルクにおいては定期的に連絡会を持っている,
- －JETRO, 領事館と連携した各種講座, イベントの開催,
- －連携の上での結果がよく見えていない,
- －活動実態についてはよくわからない

日本センターとJETRO, ROTOB等の連絡調整が行われているとの回答が大半であるが、日本国内関係者と同様、現地日本企業関係者の中にも、三者間の連絡・調整について「よく分からない」「よく見えていない」との認識がある。

3-3-5 日本センターに対する期待

◆質問9「あなたは、これからも日本センターのあなたの活動に活用していきたいですか」

肯定的回答は98%（回答者59人中、「活用していきたい」が51人、「やや活用していきたい」が7人）

質問9に対する回答の具体例は以下のとおりである。

（これからも日本センターを活用していきたい理由）

- －日本企業とのビジネス関係構築を希望するロシア企業のニーズ現況把握、並びに、それらの企業との出会いの機会として日本センターはありがたい情報源、
- －情報の精度が高く信頼性が高い、
- －これまで自社の事業活動に有益な人脈紹介や情報提供をいただいた実績があることから、これからも頼りにしていきたい、
- －個別企業では把握できない、ロシア側の動きなどの情報収集、優れた人材の紹介、
- －日露双方の公的機関との連携の取りやすさ

（日本センターを活用する利点）

- －独立非営利法人という立場のため、幅広く日露企業と交流しており、中立的な視点でのアドバイスを期待できる、
- －ビジネス上のしがらみがなく、公の立場から企業支援をしていただけるので相談しやすい、
- －無料で有益な情報が入手できる、
- －コンタクトの難しいロシア企業との接点を持つ際に相談できる

現地日本企業関係者の間でも日本センターに対するニーズは、依然として高い。日本センターを利用する利点として「中立的な観点」や「公の立場からの企業支援」が挙げられている。

3-4 ロシア側関係者

3-4-1 対象者

過去3年間（2012年4月～2015年3月）の日本センター講座（経営関連講座、日本語講座）や研修（巡回講座／訪日研修、OJT研修）の現地人受講生及び参加者に質問票を送付し、441人から回答を得た。

回答者の所属先は、「民間企業」が253人と最多であり、これに「国有企業」93人が次ぐ。

業種は、最も多かった回答がサービス業と販売／貿易業（いずれも84人）、次いで製造業（58人）となっている。このほか、様々な業種のロシア側関係者が日本センターの講座や研修に参加している。

3-4-2 日本センターとの関わり

◆質問1「あなたは、日本センターのどの講座／研修に参加しましたか（参加していますか）」（複数回答可）

1 現地企画講座	237件
2 日本語講座	157件
3 訪日研修／OJT研修	133件
4 巡回講座	98件

◆質問2「あなたが参加した（参加している）講座／研修は、どのようなテーマですか」（複数回答可）

1 日本語	128件
2 中小企業経営	119件
3 カイゼン・生産性向上・品質管理	98件
4 人事労務管理, マネジメント	83件
5 顧客満足	64件
6 マーケティング	56件

以下、小売業（22）、運輸／ロジスティクス（31）、医療（30）、観光（48）、農業／食料加工（30）、環境／ゴミ処理（21）、建設／都市インフラ（13）等。

◆質問3「あなたは、日本センターをどのようにして知りましたか」（複数回答可）

1 日本センターのサイトから	247件,
2 ロシア企業の知人から	80件
	等

質問1への回答によれば、講座／研修に複数回参加している人が少なくない。

質問2への回答によれば、「中小企業経営」、「カイゼン」、「人事労務管理」、「顧客満足」など、日本の企業経営の特徴があらわれる分野に参加者の関心が高いことが分かる。

質問3への回答によれば、ロシア側関係者が日本センターを知るためのツールとして、センターのウェブサイトが役立っている。

3-4-3 事業に対する評価

質問4～7は、日本センターの事業に対するロシア側関係者の評価についての質問である。

◆質問4「あなたが参加した（している）講座／研修は、あなたにとり満足できるレベルですか（でしたか）」

肯定的回答は99%（回答者410人中、「満足している」が366人、「やや満足している」が41人）

◆質問5「あなたが参加した（している）講座／研修の内容は、あなたのニーズに合致していますか」

肯定的回答は99%（回答者411人中、「合致している」が311人、「やや合致している」が96人）

◆質問6「あなたが参加した（している）講座／研修は、あなたの知識やスキル向上に役立っていますか」

肯定的回答は98%（回答者448人中、「役立っている」が337人、「やや役立っている」が61人）

◆質問7「あなたが参加した（している）講座／研修は、日本企業とのビジネスに役立ちましたか」

肯定的回答は75%（回答者331人中、「役に立った」が176人、「やや役に立った」が74人）

質問5においてロシア側関係者のニーズの具体例は以下のとおりである。

- －小規模ビジネス分野におけるアプローチ及び諸問題に係る興味深い情報、
- －マネジメント、イノベーション、カイゼン、
- －企業経営における日本企業の経験、
- －日本的な経営アプローチの特質を知り、それを自分の企業に実際に導入すること

質問6において日本センターの講座／研修がスキル向上に役立った具体例は以下のとおりである。

- －日本のビジネスマナー，
- －日本側との有益なコンタクトの構築，
- －ビジネスの発展のための新たな着想やアイデア

質問7において日本センターの講座／研修が日本企業とのビジネスに役立った具体例は以下のとおりである。

- －日本型の問題解決アプローチを知ったことで日本への商品輸出につながった。日本での見本市に参加し，日本人の嗜好を踏まえた出品ができた，
- －品質管理システムを変更した，
- －（日本センターの）セミナーを訪れてから2年間の間，会社の離職率は0%で利益率は25%上昇した。年間の顧客喪失も15%から5%となった

ロシア側関係者のほぼ100%が，日本センターの講座／研修のレベルに満足しているほか，講座／研修の内容がニーズに合致しており，知識やスキル向上に役立ったと回答している。これらの講座／研修が実際に日本企業とのビジネスに役立ったという回答数は全回答の75%にとどまるが，依然として高いレベルである。

3-4-4 対日イメージ

質問8では，日本センター事業がロシア側関係者の対日イメージに与えた影響を調査した。

◆質問8「あなたが参加した（している）講座／研修は，日本に対するあなたのイメージを変えましたか」

肯定的回答は99%（回答者383人中，「肯定的に変えた」が242人，「やや肯定的に変えた」が137人）

質問8において，日本のイメージを肯定的に変えた具体例は以下のとおりである。

- －日本人のメンタリティが気に入った。日本について親愛的な隣人と理解した，
- －訪日研修は日本，日本人及びそのメンタリティをもっとよく知る助

けとなった、

3-4-5 日露経済交流促進への寄与

質問9では、ロシア側関係者が、日露経済交流の促進に日本センター事業が寄与していると考えているかを調査した。

◆質問9「あなたは、日本センターの講座／研修がロシアと日本との経済交流の促進に寄与していると思いますか」

肯定的回答は99%（回答者403人中、「寄与している」が317人、「やや寄与している」が79人）

質問9において、ロシアと日本との経済交流の促進に寄与しているとした回答の具体例は以下のとおりである。

- －日本センターは日本のビジネス界との個人的なコンタクトに関する情報と可能性を提供し続けている、
- －セミナーは、両国民の相互理解を促進する。また、両国経済の成長に関する最も有益な経験を互いに分かち合うことができる、
- －ロシアの企業経営のレベルと質の向上は日本との協力拡大にもつながる、
- －日本センターのセミナー及びトレーニングは、露日経済協力の第一歩を踏み出すことを可能にしている、
- －医療に関する研修を実施した後、日本の医療機器への需要が上がってきている、
- －日本人企業家のことをより信頼して受け入れるようになった

日本センターの講座／研修は、ロシア連邦において実施される社会・経済改革への技術支援、日露経済交流の促進といった本来の事業目的の実現はもとより、日本と日本人に対するロシア人の肯定的なイメージの構築にも役立っている。

3-4-6 日本センターに対する期待

質問10～12では、日本センターに対するロシア側関係者の期待について調査した。

◆質問10「あなたは、日本センターの講座／研修終了後も日本センターとコンタクトがありますか」

肯定的回答は77%（回答者366人中、「ある」が283人、「ない」が83人）。

◆質問11「あなたは、日本センターとコンタクトをとりたいと思いますか」

肯定的回答は99%（回答者406人中、「コンタクトをとりたいと思う」が402人）

◆質問12「あなたは、機会があれば日本センターの講座／研修に再び参加したいですか」

肯定的回答は100%（回答者400人中、「参加したい」が400人）。

講座／研修の参加者であるロシア側関係者の77%が日本センターとコンタクトを維持している。質問11では、回答者のほぼ100%が日本センターとコンタクトをとること、機会があれば講座／研修に再び参加することを希望しており、日本センターに対するロシア側関係者の期待は高い。